

2019年度 認定留学 留学報告書

英語英米文学科 3年

留学先：アイルランド ダブリンシティ大学

留学期間：2019年3月～2020年2月

私はアイルランドのダブリンへ一年間語学留学をしました。私は英語がとても苦手で、周りの人たちの勧めから留学を決めました。留学に行く前は本当に自分が生きていけるのかとか本当に不安でした。しかし、暮らしてみると案外何とか生きていけました。最初の三ヶ月は慣れるので精一杯で日本人とばかりいました。今思うともものすごくもったいないことをしたなと思います。また、私の学校は日本人がとても多かったです。次の三ヶ月は英語を話すことに慣れてきて外人の友達も増え、留学が楽しくなりました。私は語学コースだったのでここでいう外人は韓国やブラジルの人達が多かったです。

アイルランドでは9月から大学が新しい学期に変わります。私はその頃、仲良かった日本人の友人が帰国し、心機一転ともっといろんなことにチャレンジしたいと思いました。そこでフェリスで資格取得を目指していた日本語のクラスのアシスタントがしたいと思いました。幸運なことに私の大学には日本文学科があり、日本を学んでいる生徒がいます。最初にいつも使っているレセプションに聞いてみたのですが、日本文化サークルを勧められて終わりました。しかし、私がしたいことではないと思い、日本語教員のメールアドレスを入手し、直接メールをし、お願いしてみました。すると、9月から日本語クラスでアシスタントをすることができました。

最初は戸惑ったり緊張したりと大変でしたが、とてもやりがいを感じ毎回の授業が楽しかったです。生徒がわからないところがあれば、なるべく日本語でわかりやすく説明したりと、色々考えさせられました。自分が先生の側に立つと自分の受けている英語の授業の構成などを意識したりすると参考になったりもしました。年末前に日本語教員の先生が一度授業をまるまる私が教える時間をくれました。その際は自分で資料を作ったりもしました。その経験は私の中でとてもかけがえのないものとなっています。この授業をきっかけに現地の生徒とも仲良くなれたりと良いことがたくさんありました。

9月からは現地の生徒とも仲良くなれ、英語で話す機会をたくさん作ることができました。しかし、ネイティブの中に入ると、前より確実に英語能力は上がっているはずなのにまったく聞き取れなかったり劣等感を感じることも多々増えました。しかしそれはもっと英語が話せるようになりたい、勉強をしようといった気持ちにもなるので悪くはありませんでした。留学の最後には本当に帰りたくないほど留学が楽しくなっていました。